

市民参加の委員会設置を求める要請、議員への働きかけ等、さまざまな取り組みを粘り強く続けています
枚方市と議会が市民の声を『全く』聞こうとしないことが、明らかになりました
香里ヶ丘中央公園への美術館建設強行に反対し、市民の公園と緑を守り抜こう！

●市民のパワーが2週間準備工事の強行を阻止しています

8月29日の着工予定以来今日まで続けられている阻止行動、初日の朝は6時頃から周辺住民が香里ヶ丘中央公園入り口に集まり始めた。毎朝この公園でラジオ体操をしている人々の一部も参加し、その数は85名に上った。それ以来、晴れの日も雨の日も続けられている。

●枚方市政はじまって以来と言われるこの行動、その理由は何か？ 枚方市長と市政への不信感。

市民への周知説明も不十分なまま議会をも軽視し、強引に美術館の収受を決めた市長。最近のテレビ映像や新聞からうかがえる、市長の素顔と言葉にあきれた市民がさらに増えた。

- ・市民への説明については……「もう十分時間をかけたと思うけどね」（笑いを浮かべて）。
- ・集客など具体的提案については……「具体的などころまでは言えない状況。これが正直なところ」
- ・「言葉を尽くして説明しているが、聞く耳を持ってもらえない。」（朝日9月4日）市長として恥ずかしくない？



●「美術館設置条例案」が、9月26日に枚方市議会本会議に上程されます。早すぎる審議・採決に反対しよう。

10日の初日に審議され、採決される予定であったこの条例案、市民から出された市議会への「美術館についての再度の説明会に関する請願」により、上程・審議・採決は26日に延期された。審議当日、議会の傍聴に行きませんか。工事も始まっていないこの時点で、なぜ条例を作る必要があるのか。市会議員へも設置条例反対の申し入れを行う。

●美術館建設に反対する署名が8,700筆を越えました！！

地域住民そしてその友人、香里ヶ丘中央公園前の通りを行く人々など、署名に参加する人々の輪が次第に大きくなった結果である。時には長尾や楠葉からの応援もある。最近では子連れのママも顔を見せて、情報交換やおしゃべりの花が咲く。公園の内外では、和気あいあいのうちに時間が過ぎ、時にはお茶やコーヒーお菓子のサービスも。アピールの方法にも「黄色いリボン運動」など日々新しいアイデアが生まれる。

●「再度の説明会を市長参加のもと開催していただくよう求めます。」

9月16日午前10時から上記の内容の請願が審議されます。市民による陳述がおこなわれます。多くの皆さんで傍聴し、応援しましょう。